チェロの奥深いの可能性――歌い、響き、紡ぐ
手の届きそうな距離で味わう、絢爛のデュオ!

8th ANNIVERSARY

水野優也
チェロリサイタル

2025年
4月16日(水)
開場 18:30/開演 19:00
入場料:会員4,500円(座席指定可)/
一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

Program

ベートーヴェン:チェロ・ソナタ第3番 イ長調 Op.69
ドヴォルザーク:ロンド ト短調 Op.94
プーランク:チェロとピアノのためのソナタ FP143

リゲティ:無伴奏チェロソナタ
ショパン:チェロ・ソナタ ト短調 Op.65

＊やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。

五十嵐 薫子 (IGARASHI Kaoruko) Piano

2022年ジュネーヴ国際音楽コンクール(スイス)にて、第3位及びRose Marie Huguenin Prizeを受賞。
また、日本音楽コンクール、ピティナピアノコンペティション、ショパンコンクールinAsia、日本ショパンコンクール他多数のコンクールで受賞を重ねる。

6歳より桐朋子供のための音楽教室にてピアノを始める。
ソリストとして東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ヤナーチェクフィルハーモニー管弦楽団(チェコ)他と共演。
これまでに、今泉紀子、山田富士子、村上弦一郎、横山幸雄、岡本美智子の各氏に師事。
2014年桐朋学園特別奨学生、2014～2015年明治安田QOL奨学生、2016年メンデルスゾーン・アカデミー奨学生、2017,2018桐朋学園仙川キャンパス特待生、2018年,2019年度rmf奨学生他。
NHK「クラシック倶楽部」、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」、「ブラボー・オーケストラ」等出演。室内楽ではヴァイオリンでは徳永二男氏、ワディム・レーピン氏、チェロでは長谷川陽子氏等著名な音楽家と多数共演している他、2020年には第89回日本音楽コンクールに於いて審査員特別賞を受賞(チェロ部門共演)。

水野 優也 (MIZUNO Yuya) Cello

1998年生まれ。
第89回日本音楽コンクール第1位および岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞、徳永賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞を受賞。第13回東京音楽コンクール第1位および聴衆賞、2024年エンリコ マイナルディ コンクール第1位、第31回青山音楽賞新人賞など多数受賞。
特待生として桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース修了。ハンガリー・リスト音楽院にてミクローシュ・ペレーニに師事。
現在、ザルツブルク・モーツァルテウム大学にてクレメンス・ハーゲンに師事。ソリストとして国内外でのオーケストラとの共演や、リサイタル、室内楽公演への出演、アウトリーチ参加など、活発な演奏活動を行っている。ジャパン・ナショナル・オーケストラのコアメンバー。
2023年、NOVA Recordより「水野優也×反田恭平 コダーイ:無伴奏チェロ・ソナタ&ショパン:チェロ・ソナタ」でCDデビュー。同年、オクタヴィア・レコードより高崎芸術劇場でのライヴを収録したCDもリリース。
使用楽器は、故齋藤秀雄氏の愛器だったTestore(1746年製)、弓は住野泰士コレクションよりF.Tourteを貸与されている。

©Yuji Ueno

123 Shibuya Mitake Salon (vol.176)

Shibuya Mitake Salon

●ご予約・お問い合わせ 株式会社ILA(渋谷美竹サロン) 03-6452-6711(平日10:00-18:00)、070-2168-8484(時間外可) 公式Webサイト: https://x.gd/JmEl4

水野優也チェロリサイタル

123 Shibuya Mitake Salon (vol.176)

8th ANNIVERSARY

ピアノ 五十嵐薫子 2025年4月16日(水)
開場 18:30/開演 19:00 入場料: 会員4,500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

「水野優也 × 五十嵐薫子」チェロの奥深い可能性――歌い、響き、紡ぐ
手が届きそうな距離で味わう、絢爛のデュオ!

演奏技術が飛躍的に向上している今、アーティストの個性が埋もれ、没個性化が進んでいるように感じることもある。
チェリストも例外ではなく、現在の日本には、世界的に見てもトップレベルの奏者が何人もいる。
そんななかで、これほど“ 歌うチェロ ”と感じさせる演奏に出会ったのは初めてのことだった。
水野優也のチェロは、ただ柔らかく美しいだけではなく、響きが立体的で、何を歌っているのか、それがよく見えるのだ。
可動域の広さ、表現の幅、そしてチェロが持つ叙情性――そのすべてが彼の演奏にはある。
チェロという楽器が、こんなにも華やかで、多彩な表情を持つものだったのかと、改めて感じさせてくれる。
過去の名演とされる演奏を語るときに「リリシズム(叙情性)」という言葉を使うことがあるが、それは平たくいえば「味がある」ということなのだろう。
均一化されすぎているのではないか、と感じられることが多い現代において、「リリシズム」を感じさせてくれる演奏家は、もはや稀少な存在になりつつある。
しかし、水野優也のチェロには確かにそれがある。

「美竹サロン」という制限の無い空間の中で、彼はまさに「チェロの奥深い可能性」を示すようなプログラムを提案してくれている。
まず、ベートーヴェン「チェロ・ソナタ第3番 イ長調 Op.69」。
ベートーヴェンらしいモティーフの扱いと、チェロとピアノの対話が、驚くほど洗練された形で展開される。
ドヴォルザーク「ロンド ト短調 Op.94」は、民族色豊かな旋律がチェロの歌心を引き立てる佳作。

そして、プーランク「チェロとピアノのためのソナタ FP143」。
プーランク特有の洒脱さとウィットに富んだ旋律が、どこか都会的な空気を醸し出す。
しかし、その裏には、ふとした瞬間に胸を打つ抒情が潜んでいる。
後半は、また違った方向からチェロの表現の可能性を追究する。
リゲティ「無伴奏チェロソナタ」は、現代音楽の中でも特に演奏効果の高い作品。
ここにはリゲティにありがちな「難解さ」はなく、むしろ透明な響きが宇宙的な広がりを感じさせる。
そして、ショパン「チェロ・ソナタ ト短調 Op.65」。
ショパンの数少ない室内楽作品の中でも、最もロマンティックな楽曲のひとつであり、特に第3楽章のカンタービレは、ショパンの抒情美が極まる瞬間だろう。

そして、このプログラムの真価を引き出す鍵を握るのが、ピアニストの存在だ。
五十嵐薫子のピアノは、まさに“ インスピレーション型 ”といったらよいのか、音楽の流れに鋭敏に反応し、時に情熱的に、時に深く沈み込むように歌う。
彼女のピアノ演奏は、音楽を変幻自在に「彩る」。

水野優也のチェロと五十嵐のピアノが、互いに触発し合いながら、どのような音楽的対話を紡ぎ出すのか、その瞬間に立ち会えること自体が、貴重な体験となるに違いない。
こうした演奏会は、単なる演奏会ではなく、音楽の可能性を探る“ ひとときの旅 ”だ。

(渋谷美竹サロン)

日本のトップクラスの演奏家たちが、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
渋谷美竹サロン(美竹清花さろん)が追求する
“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。

渋谷駅 徒歩2分
宮益坂、
クラシック音楽サロン、
誕生。

大好評につき
サロン・メンバーズ
追加募集中!

X (旧Twitter) instagram LINE

Shibuya Mitake Salon

JR渋谷駅〈宮益坂口・東口〉を出て、左前方の交差点を渡り青山方面へ坂を登る。渋谷郵便局を過ぎ ぽてちゅう と渋谷コア クリニックの間の小道を左折します。

●お問い合わせ
株式会社ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さろん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日10:00-18:00)
070-2168-8484 (時間外可)
Fax 03(3409)0188

公式Webサイト